

地域のつどい+登録商品「北海道放牧豚」を知ろう

4月27日 第9地域委員会

オンライン開催となったこの日、前半の地域のつどいでは「コロナ禍は『じっくり学習する時間』となった」「オンラインでもいろいろな活動に参加できた」などの声が…。後半は、商品部の千葉職員による「北海道放牧豚」学習会。北海道厚真町・希望農場の豚は、屋根付き豚舎と放牧地を自由に歩きまわし、ストレスのない環境で育つこと、敷料は完熟堆肥のバイオベッドのため糞尿は発酵処理され臭気も抑制、冬は発酵熱が床暖房の代わりになること、飼料の「とうもろこし」「大豆油かす」は非遺伝子組換えで、さらに「とうもろこし」はポストハーベストフリー（収穫後農薬無散布）と聞き、「今後も循環型畜産を目指してほしい」と参加者も納得でした。



飼育日数は、一般的な養豚より1か月以上長い約210~220日間です。

もしもの時にも慌てない…にじえ葬ミニ学習会

4月15日 第8地域委員会

ちょっと人には聞きにくい…今どきのお葬式事情、ずばりプロがお答えします。講師は(株)セレモアの山崎正樹さん、東都生協生活文化事業担当の泉澤賢一職員。残された人に負担をかけたくない、最近では自ら事前相談する人も増えているとか。エンディングノートは何度でも書き換えられ、メモ代わりとしてもおススメ。もしもの時のために、預貯金やパソコン・携帯電話のパスワードなど紙ベースで残しておくことも大切と聞き、これも時代の流れと妙に納得しました。東都生協は葬祭も扱うという広報も兼ねた今回の学習会。学習会開催やプラン、金額など、お気軽にご相談ください。

にじえ案内センター
フリーダイヤル 0120-85-0983



「ヘルシーエクササイズ」定例会を開催

4月13日 第9地域と一と会

小平市と東村山市を中心に11人で活動中の「ヘルシーエクササイズ」。2カ月に1回開催が基本ですが、コロナの感染状況を見て4か月ぶりに集まりました。東都人材バンク・松谷佳子さんの指導の下、1時間半。気功やヨガを取り入れたストレッチ・筋トレで血行も良くなり、心身ともにリフレッシュしました。「先生が毎回たくさん教えてくださいださるので覚えるのが大変!」ですが「毎回、楽しみにしています!」と、元気に集って体操ができる嬉しさを皆でかみしめました。終了後の東都生協の新商品やおすすめ商品の情報交換も、とても楽しい時間です。



平和への思いをつなげる「ピースニットサロン」

4月27日 さんぼんすぎセンター 第5地域委員会主催

「数十年ぶりにかぎ針を手にしました。懐かしく温かい感触、いいですね。うれしい感想が寄せられた「ピースニットサロン」は、好評だった1月に続いたの開催。サポーターの清野初美さんに習いながら、編み物の時間を楽しみました。

準備された色とりどりの毛糸の中から、好みの糸を選び、10センチ角のモチーフを編みます。編み図や動画の準備もありましたが、手から手に教え合うのが一番早道! 場も和みます。

初心者の方も丁寧な手ほどきを受けてみるみる習得、「自宅でもできるようにうれしいです」と笑顔に。「久しぶりの編み物。脳トレに良さそう」「集中すると気持ち落ち着いて、心が鎮まりますね」との声には一同共感しました。

「ピースニット」は、「東友会」(東京に住む被爆者の会)に膝掛けを贈ったのが始まり。1988年から、組合員活動として取り組みが広がり、交流が続いています。



編みあがったモチーフ。自宅で編んでくださる方大歓迎!



「編み物上手だったおばあちゃんの針なんです。使い込まれたツヤツヤの竹針で編むAさん。」

「東友会」・ピースニット活動の詳細はこちらから。



インフォメーション



〔2021年度第12回定例理事会2022年4月7日開催〕
〔審議事項〕●第48回通常総代会議案 定款の一部改正の件
●第48回通常総代会議案 規約の一部改正の件
●農業高校生 応援金振込の件 他

〔報告事項〕●福祉政策2025(仮)への2022年度推進計画確認の件
●「私たちの願い」発行の件 他

〔2021年度第13回定例理事会2022年4月21日開催〕
〔審議事項〕●第48回通常総代会議案書確認の件(その1)

●組合員組織と活動のあり方見直しの理事会骨子案確認の件
●75歳以上医療費 窓口負担2割化「中止を求める請願書」運動取り組みの件
●「東京農業の振興」と取り組みに関する考え方「および」JA東京中央との連携協定締結確認の件 他

〔報告事項〕●第48回通常総代会議案書の別冊資料確認の件
●2021年度 第3回総代会議の開催に関する件
●2021年度環境管理活動の報告に関する件
●東都生協の教育研修制度「確認」の件
●2021年度内部統制の取り組みに関する報告の件 他

今後の理事会日程(予定)

7月21日(木)、8月18日(木)、9月15日(木)

4月のわたしたち

2022年4月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数	257,070人	[99.3%]
加入	725人	[88.1%]
脱退	835人	[87.8%]
総事業高	3,029,560千円	[99.7%]
共同購入事業	2,915,745千円	
弁当配食事業	32,043千円	
生活文化事業	12,571千円	
生活支援事業	2,908千円	
その他事業	66,293千円	
★出資金	6,617,809千円	[101.0%]
★1人あたりの出資金	25,743円	[101.7%]
★1人あたりの利用高	6,006円	[99.9%]

第48回通常総代会を開催、全議案を可決

6月16日、第48回通常総代会をハイアット リージェンシー 東京(新宿)で開催、全5議案を可決しました。

総代会は、決算や予算、事業計画など重要事項を決める最高意思決定機関です。長引くコロナ禍の状況の中、東都生協25万組合員を代表する総代が、昨年12月から総代会議などを経て当日に臨みました。詳細は9月号でご紹介します。

2022年度 わたしたちが目指すもの

- 持続可能な社会に向けて食の未来づくり運動を広げましょう
- 組合員の声に応える組織改革を進め、地域社会に貢献していきます

採択結果

議案件名	結果
第1号議案 2021年度活動・事業報告承認の件	過半数の賛成により可決
第2号議案 2022年度活動・事業計画承認の件	過半数の賛成により可決
第3号議案 定款の一部改正の件	2/3以上の賛成により可決
第4号議案 規約の一部改正の件	過半数の賛成により可決
第5号議案 組合員除名の件	2/3以上の賛成により可決

※第3・第5号議案は出席総代の2/3以上、それ以外の議案は過半数の賛成で可決となります

—東京で実現する協同組合間連携— JA東京中央との連携協定締結式を開催

2022年6月1日、東都生協と東京中央農業協同組合(JA東京中央)は、地域社会への貢献を目指す組織として緊密に連携し、互いの組合員および地域住民の「食」と「農」を守り、豊かなくらしの実現を目指すために、東京の農業と地域社会への貢献に関する連携協定を締結しました。

連携事項

- (1) 食と農の安全を守る取り組みに関すること
- (2) 東京農業の維持・発展に向けた取り組みに関すること
- (3) 東京産の農産物の流通促進に関すること
- (4) 農地保全を目指す取り組みに関すること
- (5) 組合員・役職員の交流による協同組合運動の実践および人材育成に関すること
- (6) SDGsの目標達成に向けた取り組みに関すること
- (7) みどりの食料システム戦略を踏まえた取り組みに関すること
- (8) その他本目的の達成に必要な事項に関すること



協定書を手にJA東京中央 穴戸幸男組合長(写真左)、東都生協 風間与司治理事長(写真右)

協定締結式の動画が、期間限定で(8月末まで)右の二次元コードからご覧いただけます。



今後は定期的な意見交換や連携協力会議を行い、東京の農業と地域社会への貢献に向けて具体的な連携を進めていきます。